

人間発達学部
KITAHARA Takuya
PROFILE
職名
人間発達学部 児童教育学科教授
学歴
早稲田大学教育学部教育学 科体育学専修卒業（1976）
学位
教育学士（早稲田大学、 1976）
所属学会
日本カリキュラム学会、教 育目標・評価学会
専門分野
教育課程論、教育評価論、 教育方法学

## 北原 琢也

きたはら たくや

**研究課題1 ● 授業の変換をはかる教育評価**

**研究課題2 ● PISA 学力と総合的な学習の実践**

**研究課題3 ● 学校を変革するカリキュラム・マネジメント**

### 業 績

#### 【著書】

『新しい教育評価への経営戦略』/「教職研修2月増刊号第5巻」教育開発研究所、2003年、共著。

『学力向上策と学校経営上の“とりあえずのフォロー策”』/「学校運営研究6月号」明治図書、2003年、共著。

『今日から始める「確かな学力指導の基礎基本」』/「教職研修3月増刊号第6巻」教育開発研究所、2004年、共著。

『中等教育資料5月号』/ぎょうせい、2004年、共著。

『学校運営研究5月号』/明治図書、2004年、共著。

『絶対評価の実践報告7月号』/明治図書、2004年、共著。

『教職研修7月号』/教育開発研究所、2004年、共著。

『現代教育科学11月号』/明治図書、2004年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）11月号』/学事出版、2004年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）4月号』/学事出版、2005年、共著。

『指導と評価』/（社）日本図書文化協会、日本教育評価研究会、2006年、共著。

『教職研修“信頼される学校づくり”に向けたカリキュラム・マネジメント』/2006年、共著。

『「総合的な学習の時間」実践事例集』/ぎょうせい、2006年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）9月号』/学事出版、2006年、共著。

『「特色ある学校づくり」とカリキュラム・マネジメント』/三学出版、2006年、単著。

『校長・教頭の授業観察・面接ハンドブック』/教育開発研究所、2006年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）1月号』/学事出版、2007年、共著。

『指導と評価7月号「連載12 ペーパーテストで思考力・表現力を測る」』/（社）日本図書文化協会、日本教育評価研究会、2007年、共著。

『指導と評価8月号「連載13 ペーパーテストで思考力・表現力を測る」』/（社）日本図書文化協会、日本教育評価研究会、2007年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）9月号』/学事出版、2007年、共著。

『指導と評価10月号「連載14 ペーパーテストで思考力・表現力を測る」』/（社）日本図書文化協会、日本教育評価研究会、2007年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）3月号』/学事出版、2008年、共著。

『新しい「基礎・基本」の習得』/教育開発研究所、2008年、共著。

『「総合的な学習の実践事例と解説」実践事例集の追録』/ぎょうせい、2008年、共著。

『現場発！学校経営レポート①「学力向上」実践レポート』/教育開発研究所、2008年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）6月号』/学事出版、2008年、共著。

『改訂 校長・教頭の授業観察・面接ハンドブック』/教育開発研究所、2008年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）11月号』/学事出版、2008年、共著。

『指導と評価 2009年11月号「連載 第三回全国学力調査問題の分析 中学校国語」』/（社）日本図書文化協会、日本教育評価研究会、2009年、共著。

『指導と評価2010年4月号「連載 第三回全国学力調査結果の分析 中学校国語」』/（社）日本図書文化協会、日本教育評価研究会、2010年、共著。

『Principal（月刊プリンシパル）4月号』/学事出版、2010年、共著。

#### 【学術論文】

「理科の評価基準の策定と実験テストを含む評価方法の開発研究」研究 平成12年度～14年度、科学研究費補助金（基盤(B)(2)）（平成15年3月）執筆担当：「目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）における『関心・意欲・態度』の評価について」(pp.1-25)

「評価規準および評価方法等の改善と開発に関する研究」学習評価の工夫改善に関する調査研究（平成16年3月）執筆担当者①：「活用しやすい評価基準を作成するには、どのような工夫が必要か」(pp.35-39)、執筆担当者②：「学習の評価を踏まえて、どのような指導の改善を進めるか」(pp.113-119)

「カリキュラム設計」への招待―「逆向き設計」で「確かな学力」！―平成15年度～17年度、科学研究費補助金（若手(B)）、研究代表（平成18年3月）、執筆担当者①：「私の学校経営論―スクールリーダーと創意工夫―」(pp.81-85)、執筆担当者②：「授業展開から創り出される評価基準―『具体化』『精選化』『構造化』」(pp.86-97)

「学力向上をめざす 評価規準と評価方法の開発」平成16年度～18年度、科学研究費補助金（基盤研究(C)）（研究課題番号：16530502）、（2007年3月）、執筆担当：「『逆向き設計』を組み込んだ実践事例」、(pp.215-224)

#### 【国内学会発表】

「中学校の評価規準設定における現状と課題」/教育目標・評価学会第13回公開シンポジウム「評価規準をどう設計すればよいのか」、2002年12月、共同。

「『逆向き設計』論を活かしたカリキュラム」―京都市衣笠中学校における研究開発―/日本カリキュラム学会第17回奈良大会、2006年7月、共同。

#### 【その他】

<講演> 「指導と評価の一体化、評価の信頼性」、高知県任用2年次教頭研修会Ⅲ（高知県教育センター本館）、平成20年8月12日。

<講演> 「教育評価を活かしたカリキュラム・マネジメント」、第7回兵庫県伊丹市立幼・小・中・高及び特別支援学校教頭会（伊丹市教育委員会研修室）、平成21年2月16日。

<講演> 「指導と評価の一体化及び授業の充実（校内研修の活用）」、高知県任用2年次教頭研修会Ⅲ（高知県教育センター本館）、平成21年6月22日。

<講演> 「PDCAサイクルを生かした授業改善 ～指導と評価の一体化を目指して～」、高知県香美市教職員研修会（香美市立中央公民館大ホール）、平成21年8月10日。

<講演> 「新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり―PDCAサイクルを生かした授業改善―」、平成21年度 高知県「教科ミドルリーダー育成事業」、(ウェルサンピア高知 レインボーホール)、平成21年8月19日。

<講義及び演習> 「『評価基準』の考え方と設定の仕方」、高知県平成22年度初任者研修「授業基礎研修Ⅲ」及び平成22年度初任者研修指導員研修Ⅱ [小・中学校教員](高知県教育センター本館)、平成22年6月10日。

<講義及び演習> 「『評価基準』の考え方と設定の仕方」、高知県平成22年度初任者研修「授業基礎研修Ⅲ」及び平成22年度初任者研修指導員研修Ⅱ [高等学校教員](高知県教育センター本館)、平成22年6月17日。

<講演> 「指導と評価の一体化、評価の信頼性」、高知県任用2年次教頭研修会Ⅲ（高知県教育センター本館）、平成22年6月21日。